# 

# 私のおすすめスポット

会員 福井 義隆 (新潟市秋葉区在住)

今年の4月に会員になりました福井です。会員の皆様、よろしくお願いします。

「私のおすすめスポット」は田上町の護摩堂山中腹に位置する田上町多目的交流施設「ごまどう湯っ多里館(平成14年4月営業開始)」です。竹林に囲まれた自然豊かな温泉施設で、大露天風呂に浸かりながら眺める越後平野は至極のひとときです。残念ながら信濃川の水面は見えませんが、信濃川が営々と越後平野を作ったこと。大河津分水ができる前まで、農家の方々が胸まで浸かる湿田で苦労した稲作り。黄金色にかがやく田園風景もこれまた格別です。最近、竹林の成長が著しく、広大な眺望がやや遮られつつありますが、会員の皆様も仕事の疲れ等をここで癒やすことをお勧めします。





眺める越後平野露天風呂に浸かりながら

# 県内日帰りバスツアー開催しました『亀田郷乾田化のあゆみと鳥屋野潟』

日時: 平成27年9月8日(火)9:00~17:00

場所:亀田郷土地改良区(新潟市江南区)

ビッグスワンから鳥屋野潟を一望(中央区) 新潟日報「おもしろしんぶん館」(新潟市西区) アグリパーク(新潟市南区) 参加:21名

亀田郷土地改良区にて映像やジオラマで大河津分 水の通水と、その後の土地改良により芦沼から現在



亀田郷土地改良区にて

の美田へと変わった ことを学び、ビッグ スワンでは動き出り た鳥屋野潟の河川整 備について説明を受けました。おした。 かランチも好評でした。 でランチも好評でした。 (事業部) サケまつり、今年も大盛況

日時: 平成27年10月17日(土)

11:30~13:00

場所:大河津資料館 参加:およそ320名

10回目を迎えた毎年恒例のサケまつり。爽やかな秋晴れの中、新潟県博物館等友の会ミーティングの一行も含め、多くの方にお越しいただきました。 信濃川の鮭6匹で作った味噌汁と新米の塩むすび、お手製の味噌漬けと盛りだくさん。用意した 400個以上の塩むすびが開始 30 分で品切れになるほど

の大盛況でした。お客 さんの笑顔と美味しい の一言で疲れも吹っ飛 びます。お手伝いいた だいたスタッフの方々、 お疲れ様でした。



(事業部)

# 理事長だより ~典生のつぶやき~

# 新発田藩の苦しみと大河津分水路工事の始まり

10月6日、わが友の会は長岡で大河津分水講演会を開催した。その折、私も前座として信濃川についての話をした。その中で、江戸時代から明治初期までの、越後平野で洪水がどれだけ発生したのかという話をした。これはもともと治水運動家田沢実入がまとめたという表で、各洪水の発生年と被害状況を1行から数行にまとめてある。

実はそれを見ていて気が付いたことが一つあった。それは「新発田藩領に被害」という記述が多いことである。これを例えば 1800 年から 1870 年(大河津分水路第一期工事の始まった年)までに何件あったかを数えてみると、9 回となる。この間越後平野全域では 26 回の記載がある。70 年間に破堤を伴う洪水が 26 件というのも多い数だが、そのうち 9 件が新発田領内で起きているというのは確かに多い。この時期新発田藩というのは近年でいう新発田市の他に新潟市の一部、加茂市を含んでいたという。それでもその面積は越後平野全体からいって小さい比率しか占めていない筈である。特に新発田藩にとって気の毒なのは 1857 年から 1860 年の 4 年間連続して大きな被害に遭ったこと、そして1868 年には戊辰戦争と洪水氾濫のダブルパンチを食らったことである。

そもそも大河津分水路開削運動は 1730年代に寺泊の本間屋数右衛門らが江戸幕府へ請願したのに始まるというのはよく知られた話である。それから 100年を越えて、主として有力な名主を中心に大河津分水路開削の請願は続けられたが、江戸幕府はついに一度も首を縦に振らなかった。それが 1860年代に入ると治水運動家の働きかけにより、新発田藩が幕府に請願を提出し、遂には 1868年には新発田藩の家臣大参事窪田、小参事富樫が中心になり諸藩をまとめて越後府に大河津分水路工事を建白したという。これにより越後の官民の声は一つになったとされる。ところが時を同じくして 1867年に幕府は大政奉還をして日本の統治権を放棄してしまうのである。何と、大河津分水路開削の請願に対してついに良い返事をしないままに!

まだ明治新政府も「ゆりかご」の時代で、諸事定まっていなかったこの時期の 1869 年、治水運動家田沢与一郎は京都へ向かい、中御門治河総督に会い、越後の窮状を縷々訴えたところ、総督はそれに感じ入り、「大河津分水路開削を始めるべし」という越後府知事宛ての親書を渡すのである。田沢はそこで越後に急ぎ取って返し、水原にあった越後府に壬生知事を訪い、その親書を渡すのである。壬生は半信半疑であったらしく、先ず諸藩を招集して会議をするのだが、結局はこれを契機に大勢は大河津分水開削工事開始へと動き、1870 年の第一期工事の開始に至るのである。この田沢らの動きは、何ともウルトラC的(少し古いかな?)ではないか。こんなことができたというのも、この時期新発田藩は殊の外水害に苦しめられ、藩の重臣らも治水運動家と共に民衆と心を合わせていたからではないだろうか。

ここまで書いてきて、インターネットのホームページで新発田藩の記事を読んでみた。 戊辰戦争の時、新発田藩は新政府側につきたかったが、周りは奥羽越列藩同盟(いわゆる幕府方)であるため、身の処し方に大変苦労したという。ある時、米沢藩主が率いる奥羽越列藩同盟の大軍が新発田城に迫り、藩主に軍営に出頭するよう命じた。行けば、藩主は人質になるという筋書きであったという。藩主はやむなく少数のお供を従えて城を出る。ところが城下には農民の群衆が竹やりなどを翳して待ち構え、城主たちの一行を通さない。他にも戦場に行こう、戦場になろうという局面で何度もこういうことがあったという。これらの'蜂起'について、史書は扇動する者がいたともいう。だがやはり、群衆を集めたということは人々の心と藩政とをつなぐものがあったからに違いない。

以上の話は、洪水の記録によく出てくる、新発田藩が見舞いの米、金子を出したという記事、そして重臣ともいえる藩士が治水運動に加わったという話、これらすべてとつながっているように思えるのである。つまり、大河津分水建設の運動は、今で言えば官民一体の願いであり、だからこそ長い年月を経て成功させることができたのだ。

### 大河津分水講演会2015

# ~地域と考える信濃川・大河津分水の恵みとその将来~



大勢の聴衆で埋まった会場

10月6日(火)、長岡市アオーレ長岡市民交流ホールAに て、当初の定員 180 名を大きく上回る 260 名の聴衆を集 めて大河津分水講演会 2015 が開催されました。それでも

約50名の方には席をご用意できず、 お断りをするという状況でした。

燕市、新潟市、三条市と続き今回で 4回目となる講演会には、来賓として 森長岡市長、藤山北陸地方整備局長に ご参加いただきご挨拶を頂戴しました。



森民夫長岡市長

早川理事長による講演「信濃川の河川整備と大河津分水-大河津資料館友の会の目指すもの-」の後、高橋裕東京大学 名誉教授から「河川技術と技術者の歩んだ道-大河津分水工 事を中心に-」を講演いただきました。

大河津分水補修工事を指揮した2人の優れた技術者、青山 士と宮本武之輔がそれぞれどのような経緯で大河津分水工 事に参加したのか、二人の人生観や技術者としての精神につ



講演された高橋 裕先生

Н

いてお話しいただきました。「信濃川の工事は、偉大な 事業ということだけではなく、携わった人の心がこもっ たもので、将来に受け継ぐべきこと」というお話を聞い て、歴史や工事の事実だけでなく「心がこもった工事」 ということも、資料館来館者にお伝えしていかなければ いけないと感じました。

講演会後の交流会には約90名の方にご参加いただき、 米寿を迎えられた高橋先生のお祝いに鏡開きをして乾杯 しました。大変賑やかで楽しい会となりました。(事務局)



高橋 裕 先生 米寿のお祝い

# 第4回新潟県博物館等友の会ミーティング「ともの会議 in 大河津分水」開催しました!

時:平成27年10月17日(土)11:30~17:00 所:大河津資料館 2F 多目的ホール 参加:20 名

参加団体:吉田東伍記念博物館友の会・石油の世界館友の会・十日

町市博物館友の会・なじょもん友の会・新潟県立歴史博

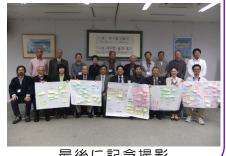
物館友の会・信濃川大河津資料館友の会(計6団体)

博物館や資料館の「友の会」6団体が大河津分水に集まり、近 況や課題などを話し合いました。各会がそれぞれの特色を活かし 多彩な活動を展開している一方で、活動のマンネリ化や会員の高 齢化など、共通の課題を抱えていることが再認識され、その課題 を解決するための一つの方策として、各会が連携してはどうか、 といった意見が出されました。

各会の皆さんの熱意と柔軟な発想で有意義なミーティングを することができました。スタッフ、そして同じ目線で意見交換を してくださった参加者の皆さんに改めて感謝です!(事業部)



たくさんの意見が出た ワークショップ



最後に記念撮影



# イベント案内

# 庭木の剪定にご協力ください!

今年度 2 回目となる資料館の庭木の剪定を行います。お手持ちの道具を持参してお集まりください。剪定くず集めの方も同じく募集します。(支援部)

日 時:平成27年11月14日(土)10:00~12:00

場 所:大河津資料館敷地内

慰労会:剪定作業終了後、ふれあいセンターにて慰労会(昼食会)を開催します。

※参加希望者は事務局までご連絡ください。

# 平成 27 年度 第3回ガイド研修

資料館管理補助業務運営員の第3回ガイド研修を開催します。当初計画では、糸魚川市にあるフォッサマグナミュージアムを見学する予定でしたが、屋外施設が冬季閉鎖になるため現地見学ができないとのことなので、今回は見送ることになりました。ということで、第3回ガイド研修は新潟県立歴史博物館と柏崎原発サービスホールを見学します。普通は見ることのできない歴博のバックヤード、原発の構内も廻る予定です。(事務局・支援部)

※柏崎原発見学の際、顔写真付き身分証明書が必要になります。当日は免許証、パスポート等、 または顔写真付き証明書等が無い方は健康保険証を持参してください。

日 時:平成27年11月28日(土)8:30~17:00

集 合:大川津ふれあいセンター 8:30

場 所:◆新潟県立歴史博物館 長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 №0258-47-6130

◇柏崎原発サービスホール 刈羽村大字刈羽 4236-1 NLO120-344-053

参加費: 昼食代 1, OOO 円程度(昼食場所:角さんの台所)

※定員20名程度(運営員以外の方も参加できます。定員になり次第締め切ります。)

### 平成 27 年度 第 2 回理事会

平成27年度第2回理事会を下記の通り開催しますので、理事・幹事の方々の出席をお願いします。(事務局)

日時: 平成 27 年 12 月 19 日(土) 13:00~14:50 場所: 大河津資料館 2F 多目的ホール

# 信濃川教養講座「萬代橋物語」を開催します

明治 19 年初代萬代橋から、昭和 4 年完成後、大河津分水と共に県都新潟を支え続ける三代目まで、萬代橋を取り巻く様々な出来事、歴史について、現在の管理責任者であり、萬代橋を愛してやまない新潟国道事務所長近藤淳様からご講演いただきます。(事業部)

日時: 平成 27年 12月 19日(土)15:00~16:30

場所:大河津資料館 2F 多目的ホール 講師:国土交通省 北陸地方整備局

新潟国道事務所長 近藤 淳 氏

※参加希望者は事務局までご連絡ください。

# 忘 年 会

今年も残りわずかとなりました。 この 1 年を振り返りつつ、より親睦 を深めるため忘年会を開催します。 教養講座講師の新潟国道事務所長 近藤淳様も参加予定です。(事務局)

日時: 平成 27 年 12 月 19 日(土)

17:00~19:00

場所:分水町内(決まり次第参加者

へお知らせします)

会費: 4,000 円程度

※参加希望者は事務局まで。

«編集後記»◆今年のサケまつりの盛況振りには驚きました。それだけ、多くの方に知られ定着しつつあるのではと感じています!◆同じ日に開催された友の会ミーティングも各会ともに有意義な意見交換ができたということで、ホッとしています◆大河津分水路に渡り鳥がたくさんやって来る季節となりました。少しずつ冬の訪れを感じます。寒くなってきましたので、体調管理にはお気をつけください。(E)

#### <事務局連絡先>

〒959-0123 燕市大川津 1215-7 TEL 090-2673-6596(事務局長) 080-9876-3683(事務局) FAX 0256-97-3682

e-mail

ohkouzu\_tomonokai@yahoo.co.jp https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/

